

復刻版

婦人のこえ

全8巻

1953年10月
～1961年9月



平和と民主主義、労働問題、女性の権利拡大、
教育、貧困問題……
「本当の民主主義」を希求する
女たちの熱い議論を掲載

戦後日本の激動期を駆け抜けた女たちの記録、全九四冊を完全復刻！
志を共にする女性たちと発刊した『婦人のこえ』。
労働省婦人少年局長を辞した山川菊栄が、

揃定価●160,000円＋税（税込176,000円）
体裁●A5判・上製・総3,254ページ
配本●全2回配本
解説●鈴木裕子
推薦●水溜真由美・林葉子

六花出版

全8巻概要

2024年11月刊 本体80,000円＋税（税込88,000円）
ISBN978-4-86617-252-1

- 第1巻 1953年10月号～1954年12月号
（巻頭に解説＝鈴木裕子）
- 第2巻 1955年1月号～1955年12月号
- 第3巻 1956年1月号～1956年12月号
- 第4巻 1957年1月号～1957年12月号

2025年5月刊 本体80,000円＋税（税込88,000円）
ISBN978-4-86617-257-6

- 第5巻 1958年1月号～1958年12月号
- 第6巻 1959年1月号～1959年12月号
- 第7巻 1960年1月号～1960年12月号
- 第8巻 1961年1月号～1961年9月号

キーワード

- #山川菊栄
- #三瓶孝子
- #藤原道子
- #河崎なつ
- #平和憲法
- #貧困と格差
- #男女同一賃金
- #ジェンダー
- #フェミニズム
- #女性運動
- #女性労働
- #女性差別
- #家長長制
- #労働問題
- #反戦・平和
- #非武装・中立
- #売買春問題
- #売春防止法
- #MSA協定（日米相互防衛援助協定）
- #反核・非核
- #社会保障



*表示価格はすべて税別。

復刻版

婦人のこえ 全8巻

1953年10月～1961年9月

●体裁
A5判・上製・
総3,254ページ
●揃定価
160,000円＋税
（税込176,000円）
●解説
鈴木裕子
●推薦
水溜真由美（北海道大学）
林葉子（名古屋大学）



六花出版 ①01-0051 東京都千代田区神田神保町1-28 電話 03-3293-8787 FAX 03-3293-8788 <https://rikka-press.jp>



女性と労働者の解放を目指した 山川菊栄と女性たちのネットワーク

水溜真由美 ●北海道大学

山 川菊栄といえば、舌鋒鋭い孤高の理論家のイメージが強い。廃娼論争、母性保護論争の際は、フェミニストの論敵を容赦なく論破した。一方で、菊栄のまわりには多くの女性運動家が集った。菊栄の社会主義女性運動に対する真摯な姿勢と理論家としての傑出した能力ゆえであろう。戦前の日本では女性が活躍する機会が著しく限られていたが、菊栄は女性たちが能力を発揮できるよう尽力した。戦後の労働省婦人少年局長の時代には、地方職員室の職員に女性を採用すべく全国各地を奔走した。

『婦人のこえ』は、菊栄が婦人少年局長を退任させられた後の一九五三年から六一年まで発行したミニコミ誌である。左派社会党の女性雑誌の位置づけを持つとはいえ、確たる経済的基盤のない中で八年間も続いたのは、女性たちの声を社会に届けようとする菊栄の熱意と多くの女性たちの支えがあればこそ、と思われる。多数の硬派な記事を含みながらも、手作りの温かみがある『婦人のこえ』は、菊栄を囲む女性たちのネットワークの証である。

山川菊栄の長い活動歴のうち、婦人少年局長退任後の活動は、『おんな二代の記』『覚書 幕末の水戸藩』などの著作をのぞけば、あまり知られていない。『婦人のこえ』復刻版は、その欠落を埋める貴重な資料である。占領期が終わり、高度経済成長にさしかかった時代に、菊栄が女性と労働者の解放を実現するために、どのような考えを持ち、どのような発言を行っていたのか、たどり直す意味は大きい。

(みずたまり・まゆみ)

軍事化に抗する

フェミニニズムの原点

林葉子 ●名古屋大学

女 性たちは、戦前の日本社会において政治参加の権利を奪われていた。政治を学んだり論じたりする機会がほとんど与えられないなかで、軍事主義を貫く政府の政策によってもっとも傷つけられたのも、女性を含む社会的弱者だった。敗戦を経て、ようやく女性たちは参政権を得たものの、あまりにも長く政治から遠ざけられていたために、女性たちが政治を論じられるようになるためには、その力を養うための場が切実に必要とされていたのである。

そんななか、『婦人のこえ』は、女性たちが自ら編集し、政治や経済、軍事、外交、文化や暮らしについての女性たちの「こえ」を集めて刊行された。女性評論家や女性議員等の著名人だけでなく、「働く者」や主婦たちも、その原稿を執筆した。それらの記事の中には時代を色濃く反映したものが多く、「戦争未亡人」「引揚」「特飲街」、沖縄を含む基地周辺の女性たちの性被害や人身売買問題を取り上げた記事等は、とくに注目に値する。

日本で再軍備が進められた一九五三年に創刊された本誌は、その世相を批判し、過去の戦争がどのように日々の暮らしを圧迫して社会的弱者の人権を奪ったのかを実例として示した。それは、フェミニズムの立場からの軍事化への抵抗であり、政論の自由を得た女性たちの、言論による平和運動である。未だ戦禍の止まない世界に生きる私たちが、何度でも立ちかえるべき原点の一つである。

(はやし・ようこ)

創刊のこゝば

悪夢のような戦争が終わって八年、新しい憲法ができ、労働基準法、改正民法、教育基本法、児童福祉法その他数えきれないほどの法律ができましたがそれが守られているでしょうか。私たちの生活は安定したでしょうか。日本はほんとに平和な文化国家への道をまっすぐに歩いているでしょうか。せつかく参政権が与えられ、婦人が有権者の過半数を占めているのに選挙の度に総得票数に於ても議員数に於ても保守系に大多數を占められているではありませんか。相変わらず働く者貧しい者を犠牲にして大資本と官僚の抱合政治が榮え、再軍備が強行されようとしているではありませんか。私たちは米ソいずれへの一辺倒をも排し、自主中立の立場から平和を確立し、婦人、児童、働く人の権利を守る、ほんとに民主的な社会、社会主義の社会を作るために働きたいのです。「婦人のこえ」はそのための手段です。皆さん手をとって闘いましょう。進みましょう。

婦人のこえ



昭和二十八年十月號

創刊のこゝば	山川菊栄
時のうごき	河崎なつ
子供は放り出されている	藤原道子
人身売買の問題	藤原道子
軍事豫算を下廻る教育費	神原千代
恩給と社会保障	高橋芳子
外房の女たち	阿部艶子
政治家への不満	杉村春子
随 筆	新居好子
新居 成 る	淡谷のり子
婦人界のうごき	菅谷直子
MSA 援助について	三瓶孝子
海外アンネはここにも	山川菊栄
旅行記	長澤美津
沼の 月(短歌)	岩瀬ふみ子
能率給への疑問	岩瀬ふみ子
短歌・俳句	小川マユ
表紙・扉	小川マユ

1953年創刊号

女ひとりの生活を語る

井上 ヤス (四十才)
西田 壽美子 (二十六才)
加藤 禮子 (二十六才)



編集部 労働省の調査によると、二三年前の資料ですが、日本の労働総数約三九百萬に對し女子は千六百萬餘り、大體四二%、そのうち家庭従業者が大部分を占め、外に出て働いている女子雇用者は四分の一でおおよそ四百萬となっています。そのうち既婚者がどのくらいか調べていませんが、大體獨り身が多いだろうと思います。そしてこれら働く人の中にはいろいろな境遇の方がおり、職場はもとより労働条件も千差萬別ですが、總じて今の日本では女ひとりの生活は大變です。またどんな職場でも女がいつまでも單身で働いておらず、何か特殊な眼で見られ勝ちですね。今日はそれについて皆さんの立場から發言して頂きたいと作りました。

水商賣の女性は訴える
井上 私に先に出してしまいたいんですけど結論を先に言ってしまうような話になりそうですから、西田さんか一つ、どうぞ、まずお店のお話を聞かせて下さいませんか。
西田 私は銀座裏の小料理屋で働いているのですが、板前さんがいいので、お料理も作れば、お客さまのお相手もします。それから住込みですからお辞儀まで教えます。
井上 男の生贖というものがよくお分りでしょうね、表の男と裏の男とはつきり分つてよい参考になるでしょう。
西田 さあ、参考に、なりませうかどうかが、でも男のいろいろの顔はわかりませんが、ある奥さんが主人の給料が少な過ぎるつて會社に泣いていったんです。そのご主人が来て飲んで、おは、なんだかお勤定頂くの匂いみたい。
井上 そんな時あんな女の立場からどうお思いになりますか。
西田 そんな方のお話ですが、場所柄男の人の眼を見せつけられることはあり

ませんか、たまたま性的対象として扱われるようになって。そんな時はいかげんあしつています。私の因は食物で賣つてるところで悪い話なんですけど、それが厭な男が來ます。そんな人が翌日會社にお勤定を賣りに行くんです。人間的じゃないかとびつたりするのは嫌くて、壁々としてるんです。そして昨夜のくだらなくも忘れていっしやるんです。ひどい人になると體裁が悪いから僕のところにお勤定を取りに来るな、部下に預けておきなやうに言う方あります。
井上 體裁の悪いようなことをなぜするか、女連れとか、女だけというのはありませんか。
西田 男の人と一緒に見える方があります。が女一人で、女同士でというお勤定はほとんどありません。たまたま一人ここの會社の係の女の人がよく見えますが、この方はほんとにお勤定が好きで、いっしやるようです。

對面になつていないことですね、加藤さんはいらしたことがありませんか。
加藤 この開始で行つてみたら男の客に連れられて困りましたわ。
井上 私は婦人部長をしていた時、女の人を連れていきました。男の世界をみておいた方がいいと思います。
西田 男の世界を知るために女の方もあ

いところを知りたい方がいいと思いますわ、女の方は心配し過ぎるんじゃないかと思えますが、旦那様が好きならいいと思いますか。
井上 私は一緒に歩くのがいいと思いますね、なんと言つても男の人と一緒に歩きたいです。家でハラハラしながら待つてる奥さんの方がよっぽど可愛いやありませんか。
西田 そうなんですけど、男の人は解放感を求めてくるんです。家でハラハラしながら待つてる奥さんの方がよっぽど可愛いやありませんか。
加藤 とにかくあーアイスされては誰れでも行きたくありません、それは至れり至れりです。家では一本くらいはできます。男の方もあんなにハメをはずさないでしよう、ほんとに愉快そうだしね。
編集部 家では解放感がないつて、これは考えなければならぬ話ですが、男の人はなんか無理をつけてよく外で飲み食いしたがるんですよ、戦後一番早く復原したのが男の獨逸のよんな水商賣でしょう。貴



生活と法律

久米 愛 (井筒士)

たいていの人は、借りている家から去る時をせまられたか、貸した金がかえりもしないとか、離婚しようとか、何か問題が身に...

短歌

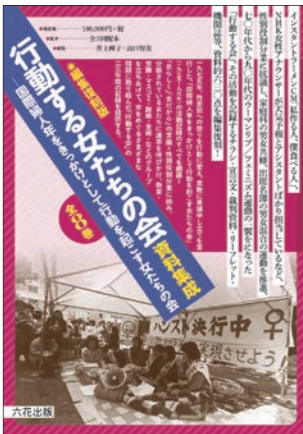
萩元たけ子

短歌は、指をからみてほそ路を縁と歩みけり五月のまほろま...

萩元たけ子選

萩元たけ子

新しい歌が出来、それに伴って新しい法律が出来、また古い法律の精神に...



◆編 高木澄子・中嶋里美・三井マリ子・山口智美・山口智美... ◆解説 井上輝子・山口智美...

行動するわたちの会資料集 全8巻 編集復刻版 The Complete Collection of Reprinted Materials of the Women's Action Group



◆監修 岩淵宏子・長谷川啓 ◆「女が書く」とは何か... ◆定価 各巻5,000円+税 税込5,500円

「新編」日本女性文学全集 全12巻 The Anthology of Japanese Feminist Literature



★ルポルタージュ★

砂川町

一時ジャーナリズムのニースのトップを切つた砂川町、去る十一月九日百名の武装警官に接収された調査班に...



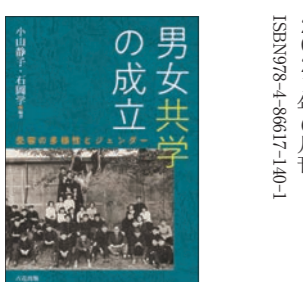
(調査砂川町の人びと)

り、滑走機を延長していった。この滑走機、非情な接収の仕方、全ては無条件降伏という...



◆解説 萩野美穂 ◆強制不妊手術を推進した優生保護法は、人工妊娠中絶を可能にする法律でもあった...

優生保護法関係資料集 第二期 市民運動編 全8巻 編集復刻版 The Complete Collection of Reprinted Materials of Eugenic Protection Act The Second Stage / Grass-roots Movement Series



◆編者 小山静子・石岡亨 ◆戦後民主主義のもとで推進された高等学校の男女共学化...

占領軍被害の研究 著 藤目ゆき 米国占領政策の成功例とされた、日本占領の内実は...



占領軍被害の研究 著 藤目ゆき 2021年12月刊 ISBN978-4-86617-157-9